

第3章 価値創造への取り組み—事業別戦略

ユーシン事業

まずは欧州事業のターンアラウンドと
シナジーの創出を図り、
車載ビジネスを中核として
住宅設備も事業拡大へ

主要製品
自動車部品
産業機械用部品
住宅機器用部品（ビル・住宅用錠前その他）



専務執行役員 兼
(株) ユーシン代表取締役社長 社長執行役員
岡部 哉慧

経営統合のシナジー

新たな8本目の槍として
**アクセス
製品**

両社の技術を相合した
新製品

自動車業界における
**プレゼンス
強化**

充実した製品群と販路拡大
クロスセル

グローバルで豊富な経営資源
**拠点・人材
活用**

生産性や品質
改善

垂直統合による
競争力

内製率UPによる
コスト低減

経営統合の背景

ミネベアミツミは、ユーシンが持つ自動車メーカーとの豊富な取引実績や知見、さらにはTier1メーカー*として最適化されたビジネスモデルを、当社グループにおける製品開発や最終顧客である自動車メーカー向けの提案に活用することにより、自動車部品市場で大きな事業拡大の機会を得ることができると判断し、経営統合に至りました。

特に自動車部品や住宅機器用部品等の親和性の高い領域において、高いシナジー効果の獲得と成長が見込まれます。

統合によるシナジーの最大化を図り、3年以内にユーシン事業の営業利益100億円を目指します。

*自動車メーカーに対して直接部品を供給する自動車部品メーカー

シナジー効果



中期事業計画（2020年3月期～2022年3月期）の主な取り組み

早期ターンアラウンドとシナジーの最大化

欧州事業の早期再建

ユーシンの欧州事業は、品質改善や生産性の向上、経営管理体制の強化が喫緊の課題となっており、今後ミネベアミツミグループのグローバル人材や製造ノウハウを注入することで、早期の収益改善を進めるとともに、技術の「相合」により競争力のある製品を確立し、業績の向上を図ります。

MinebeaMitsumi
Passion to Create Value through Difference

1.ものづくり

- 高精度・高機能部品の提供
- 内製化比率の向上
- 自動化の伸展

2.管理機能

- 人材支援

3.営業機能

- クロスセル

ノウハウ注入

u-shin 欧州事業

↑売上拡大
↑生産性改善

自動車部品の競争力向上

外部調達していたモーターや電子回路等の内部調達化や、部品・金型加工技術や生産自動化技術のノウハウ注入によ

り、大幅なコスト削減や調達リスクの低減のほか、品質向上にもつなげ、競争力を向上させていきます。

10年後目指す姿

シナジー事例① 自動車部品

ユーシン技術とミネベアミツミ技術を融合しE-Access*の付加価値向上

*より安全で、快適なカーアクセス方法のご提案

■メガトレンド

ADAS/5Gを背景とする自動車の技術革新で、電動化/自律化が進む

■ユーシン自動車事業の強み

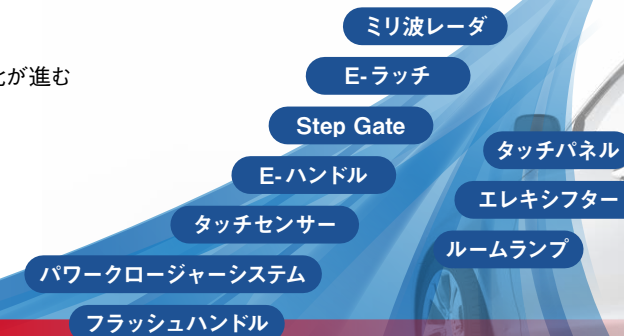
開発・生産・営業を世界中で展開し、独立系としての強みを持つことで世界トップクラスのシェアを確保

- 幅広い製品ラインナップ
- 世界15カ国に生産、営業および開発の拠点
- 名だたる有力OEMとの取引

+ミネベアミツミ 保有技術とのシナジー

(入力系 / 変換・制御系 / 出力系のあらゆるデバイス)

(スマートコックピットの事例)



シナジー事例② スマートハウス

ミネベアミツミの無線／ソフトウェア技術を中心とする 技術シナジーでスマートハウス構想を進化させる

■メガトレンド

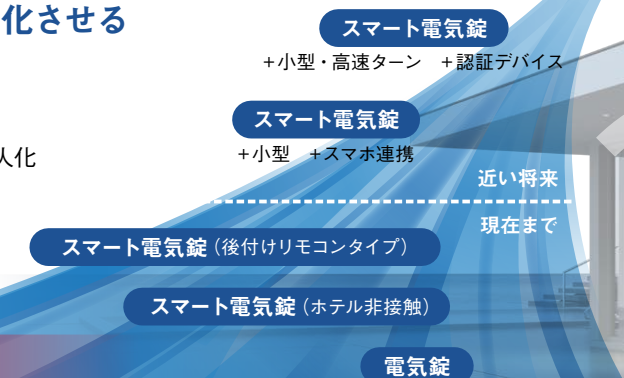
AI・ビッグデータを背景とするあらゆる住宅機器のコネクティビティ向上、Industry4.0など工場の省人化・無人化

■ユーシン住宅機器事業の強み

自動車事業で培ったメカトロニクステクノロジーを応用し、ハイレベルなセキュリティロックデバイスを開発・生産

+ミネベアミツミ保有技術とのシナジー

(モーター、センサー、無線／ソフトウェア、ほか多数のエッジデバイス)



近い将来
現在まで